



議会だより 忠岡

第32号
令和8年6月1日

◆発行／忠岡町議会 編集／議会広報委員会 大阪府泉北郡忠岡町忠岡東1丁目34番1号 ☎ 0725-22-1122(代)



写真：北出配水場

次回の議会日程

(令和8年
第2回定例会)
いずれも
10時より(予定)

6月 9日(火)、10日(水) 本会議(一般質問)

6月 11日(木) 本会議(議案審議)

6月 15日(月) 総務事業常任委員会

6月 16日(火) 福祉文教常任委員会

6月 25日(木) 本会議(付託委員会報告、採決等)

もくじ

3月議会の議案審議状況 …………… 2ページ	一般質問(今奈良幸子・尾崎孝子) …… 10ページ
総務事業常任委員会・ 福祉文教常任委員会報告 …………… 6ページ	一般質問(河瀬成利・北村孝) …………… 11ページ
一般質問(高迫照子・森野良一) …………… 7ページ	ごみ処理施設調査特別委員会報告・ 予算審査特別委員会 …………… 12ページ
一般質問(二家本英生・小島みゆき) …… 8ページ	
一般質問(田辺みき・河野隆子) …………… 9ページ	各種報告・編集後記 …………… 16ページ

3月議会の議案審議状況

3月議会の議案審議状況・意見書一覧

令和8年 第1回定例会 提出案件

議案番号	件名	議案内容	議決結果	所管委員会※
報告第1号	事務報告について(令和7年分)	令和7年の事務に関する説明書(事後報告)を提出	報告	—
議案第1号	専決処分の承認を求めることについて(令和7年度忠岡町一般会計補正予算(第8号))	物価高対応子育て応援手当の支給決定 5178万1千円補正(0~18歳の児童1人につき2万円)	承認 全会一致	福祉文教
議案第2号	専決処分の承認を求めることについて(令和7年度忠岡町一般会計補正予算(第9号))	衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査、大阪府知事選挙に係る諸経費 1727万7千円を計上	承認 全会一致	総務事業
議案第3号	専決処分の承認を求めることについて(令和7年度忠岡町一般会計補正予算(第10号))	地域振興券交付事業、省エネ製品買替促進事業と広報誌に関する債務負担行為の補正 1億506万9千円を計上	承認 全会一致	総務事業
議案第4号	町道路線の認定について	開発行為の許可により築造された北出28号線、北出29号線の2路線の町道認定について	可決 全会一致	—
議案第5号	忠岡町国民健康保険条例の制定について	国民健康保険条例と国民健康保険料条例を一本化し全改正とともに子ども・子育て支援金制度の財源として医療保険料と併せて拠出を求める支援納付金を規定する	可決 全会一致	福祉文教
議案第6号	忠岡町の議会議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正について	選挙運動用ビラ及び選挙運動用ポスターの作成に係る公費負担の限度額を公職選挙法施行令と同等に引き上げる	可決 全会一致	総務事業
議案第7号	忠岡町行政手続条例の一部改正について	不利益処分の公示方法を書面掲示からインターネットによる公表を前提とした方法へと改正	可決 全会一致	総務事業
議案第8号	忠岡町介護保険条例の一部改正について	税制改正による第1号保険料への影響を遮断するため、今年度に限り改正前の基準に基づいて算定する特例を規定	可決 全会一致	福祉文教
議案第9号	忠岡町児童館条例及び忠岡町ふれあいホール条例の一部改正について	児童館及びふれあいホールの所管を教育委員会から町長部局こども課へ移管し「こども家庭センター」を設立	可決 全会一致	福祉文教
議案第10号	忠岡町火災予防条例の一部改正について	屋外等のテント型サウナ室やバレル型サウナ室を簡易サウナ設備、それ以外を一般サウナ設備と定義。感震ブレーカー普及促進を明記	可決 全会一致	総務事業
議案第11号	令和7年度忠岡町一般会計補正予算(第11号)について	避難所生活環境の改善に必要な資機材の購入と過年度事業の精算に係る経費、普通交付税再算定、各事業費の補正	可決 全会一致	総務事業 福祉文教
議案第12号	令和7年度忠岡町介護保険特別会計補正予算(第3号)について	地域支援事業交付金確定に伴う精算交付金を計上、国、府へ精算返還をする補正	可決 全会一致	福祉文教
議案第13号	令和7年度忠岡町後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)について	後期高齢者医療保険料が昨年より増加傾向あり、それに伴い、納付金も増額が見込まれるための補正	可決 全会一致	福祉文教
議案第14号	令和8年度忠岡町一般会計予算について	令和8年度当初予算案についての審査 (審査結果は15ページ、審査内容は12~15ページを参照)	可決 賛成多数	予算審査 特別委員会
議案第15号	令和8年度忠岡町国民健康保険事業勘定特別会計予算について		可決 賛成多数	
議案第16号	令和8年度忠岡町介護保険特別会計予算について		可決 賛成多数	
議案第17号	令和8年度忠岡町後期高齢者医療特別会計予算について		可決 賛成多数	
議案第18号	令和8年度忠岡町下水道事業会計予算について		可決 賛成多数	

議案第19号	令和7年度忠岡町一般会計補正予算(第12号)	児童発達支援事業費、過年度事業精算に係る経費200万円補正。令和8年度に繰越す繰越明許費3億2182万5千円計上	可決 全会一致	—
議案第20号	令和8年度忠岡町一般会計補正予算(第1号)	物価高騰への対応として重点支援交付金を活用した水道使用料の減免、中学校給食費負担軽減経費6787万1千円計上	可決 賛成多数	—

※所管委員会…「一」：委員会付託なし（即日議決）、「総務事業」：総務事業常任委員会、「福祉文教」：福祉文教常任委員会

賛成と反対が分かれた議案

○：賛成 ×：反対 退：退席 欠：欠席 議：議長

議案第14号	結	大阪維新の会・呈祥会				公明党		日本共産党			無会派	
令和8年度忠岡町一般会計予算について	果	河瀬	今奈良	前川	尾崎	北村	小島	河野	高迫	二家本	森野	田辺
	可決	○	○	議	○	○	○	退	○	○	×	○
反対意見	町長選挙公約が計上されておらずこれは町民との約束を反故する事になるこの予算案に反対											
賛成意見	子育て支援策に加えトイレに生理用品を設置。補聴器補助を拡大するなど住民に寄り添った予算。											
議案第15号	結	大阪維新の会・呈祥会				公明党		日本共産党			無会派	
令和8年度忠岡町国民健康保険事業勘定特別会計予算について	果	河瀬	今奈良	前川	尾崎	北村	小島	河野	高迫	二家本	森野	田辺
	可決	○	○	議	○	○	○	退	○	○	×	○
議案第16号	結	大阪維新の会・呈祥会				公明党		日本共産党			無会派	
令和8年度忠岡町介護保険特別会計予算について	果	河瀬	今奈良	前川	尾崎	北村	小島	河野	高迫	二家本	森野	田辺
	可決	○	○	議	○	○	○	退	○	○	×	○
議案第17号	結	大阪維新の会・呈祥会				公明党		日本共産党			無会派	
令和8年度忠岡町後期高齢者医療特別会計予算について	果	河瀬	今奈良	前川	尾崎	北村	小島	河野	高迫	二家本	森野	田辺
	可決	○	○	議	○	○	○	退	○	○	×	○
議案第18号	結	大阪維新の会・呈祥会				公明党		日本共産党			無会派	
令和8年度忠岡町下水道事業会計予算について	果	河瀬	今奈良	前川	尾崎	北村	小島	河野	高迫	二家本	森野	田辺
	可決	○	○	議	○	○	○	退	○	○	×	○
議案第20号	結	大阪維新の会・呈祥会				公明党		日本共産党			無会派	
令和8年度忠岡町一般会計補正予算(第1号)について	果	河瀬	今奈良	前川	尾崎	北村	小島	河野	高迫	二家本	森野	田辺
	可決	○	○	議	○	○	○	退	○	○	×	○
反対意見	当初予算に反対の意思を示しておりますので、この件についても反対											
賛成意見	物価高対策として国の臨時交付金を活用し中学校給食無償化、水道基本料金半年分の免除が含まれる											

※退…退席

補正予算

・補正予算

議案第 1 号 令和 7 年度忠岡町一般会計補正予算（第 8 号）

物価高対応子育て応援手当に係る諸経費 5178 万 1 千円

議案第 2 号 令和 7 年度忠岡町一般会計補正予算（第 9 号）

衆議院議員総選挙、最高裁判所裁判官国民審査費 1727 万 7 千円
大阪府知事選挙に係る諸経費

議案第 3 号 令和 7 年度忠岡町一般会計補正予算（第 10 号）

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金活用事業 1 億 506 万 9 千円
①地域振興券交付事業（繰越明許） 9646 万 7 千円
②省エネ製品買替促進事業（繰越明許） 806 万 2 千円

◆債務負担行為

①広報紙ポスティング業務委託（追加） 410 万円
②広報紙印刷製本事業（限度額変更） 592 万 1 千円→730 万円

議案第 11 号 令和 7 年度忠岡町一般会計補正予算（第 11 号）

1. 国の補正予算への対応 4413 万 8 千円
2. 過年度事業の精算に係る経費 1337 万 3 千円
3. 介護給付・訓練等給付等、その他必要となる事業費 △948 万円

議案第 19 号 令和 7 年度忠岡町一般会計補正予算（第 12 号）

児童発達支援事業費への対応 200 万円

議案第 20 号 令和 8 年度忠岡町一般会計補正予算（第 1 号）

1. 物価高騰の影響を受ける住民等への対応

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金活用事業 7345 万 4 千円
水道使用料減免事業 4275 万 5 千円
中学校給食費負担軽減事業 3069 万 9 千円

2. その他必要となる事業費

①中学校給食費 △558 万 3 千円
②小学校給食費 財源更正
③戸籍情報システム改修業務委託料 財源更正

・繰越明許

議案第 3 号 令和 7 年度忠岡町一般会計補正予算（第 10 号）

1. 繰越明許（令和 8 年度へ事業を繰り越すため）	1 億 506 万 9 千円
①地域振興券交付事業	9646 万 7 千円
②省エネ製品買替促進事業	860 万 2 千円

議案第 19 号 令和 7 年度忠岡町一般会計補正予算（第 12 号）

1. 繰越明許（令和 8 年度へ事業を繰り越すため）	3 億 2182 万 5 千円
①シビックセンター改修事業	2827 万円
②総合行政システム（住民記録）改修業務委託	115 万 5 千円
③避難所環境改善整備事業	2513 万 5 千円
④大阪府衛星無線（第 3 世代）等再整備事業	1129 万 1 千円
⑤戸籍情報システム改修業務委託	184 万 8 千円
⑥物価高対応子育て応援手当支給事業	631 万 8 千円
⑦町立小学校屋内運動場空調設備設置事業	1 億 6131 万 5 千円
⑧町立中学校屋内運動場空調設備設置事業	8649 万 3 千円

・意見書

議案番号	件 名	議決結果
意見書 第 1 号	最低賃金の引き上げと中小企業支援策の抜本的な拡充を求める意見書の提出について	否決 賛成少数

総務事業常任委員会報告 (令和8年3月4日開催)

3月4日に開催し6件の案件について審査を行いました。

委員長 河瀬 成利 副委員長 河野 隆子

委員 北村 孝／森野 良一／尾崎 孝子 オブザーバー 前川 和也 (議長)

審査結果一覧

○:賛成 ×:反対 退:退席 欠:欠席 委:委員長

議案番号	件名	討 論	採 決					議決結果
			河瀬	河野	北村	森野	尾崎	
議案第2号	専決処分の承認を求めることについて (令和7年度忠岡町一般会計補正予算(第9号))	討論なし	委	○	○	○	○	可決 全会一致
議案第3号	専決処分の承認を求めることについて (令和7年度忠岡町一般会計補正予算(第10号))	賛成 討論あり	委	○	○	○	○	可決 全会一致
議案第6号	忠岡町の議会議員及び長の選挙における選挙運動の 公費負担に関する条例の一部改正について	討論なし	委	○	○	○	○	可決 全会一致
議案第7号	忠岡町行政手続条例の一部改正について	討論なし	委	○	○	○	○	可決 全会一致
議案第10号	忠岡町火災予防条例の一部改正について	討論なし	委	○	○	○	○	可決 全会一致
議案第11号	令和7年度忠岡町一般会計補正予算(第11号) について	討論なし	委	○	○	○	○	可決 全会一致

総務事業常任委員会は行政機構の運営や管理、ごみ処理、産業振興、災害対策、消防救急に関することなどを協議、調査、審議します。

福祉文教常任委員会報告 (令和8年3月5日開催)

3月5日に開催し7件の案件について審査を行いました。

委員長 二家本 英生 副委員長 小島 みゆき

委員 今奈良 幸子／高迫 照子／田辺 みき／前川 和也

審査結果一覧

○:賛成 ×:反対 退:退席 欠:欠席 委:委員長

議案番号	件名	討 論	採 決						議決結果
			二家本	小島	今奈良	高迫	田辺	前川	
議案第1号	専決処分の承認を求めることについて (令和7年度忠岡町一般会計補正予算(第8号))	討論なし	委	○	○	○	○	○	可決 全会一致
議案第5号	忠岡町国民健康保険条例の制定について	討論なし	委	○	○	○	○	○	可決 全会一致
議案第8号	忠岡町介護保険条例の一部改正について	討論なし	委	○	○	○	○	○	可決 全会一致
議案第9号	忠岡町児童館条例及び忠岡町ふれあいホール 条例の一部改正について	討論なし	委	○	○	○	○	○	可決 全会一致
議案第11号	令和7年度忠岡町一般会計補正予算(第11号) について	討論なし	委	○	○	○	○	○	可決 全会一致
議案第12号	令和7年度忠岡町介護保険特別会計補正予算 (第3号) について	討論なし	委	○	○	○	○	○	可決 全会一致
議案第13号	令和7年度忠岡町後期高齢者医療特別会計 補正予算(第3号) について	討論なし	委	○	○	○	○	○	可決 全会一致

福祉文教常任委員会は教育や子どもの福祉、生涯学習、高齢介護、地域福祉、健康増進に関することなどを協議、調査、審議します。



高迫 照子 議員（日本共産党）



介護保険について

問 来年大きく3点が改正されるがその影響を問う。

答 〈健康福祉部長〉 利用率2割負担の対象拡大、ケアプランの有料化、要介護1, 2の方が総合事業へ移行するので影響は大きいですが、町独自の負担軽減策は考えていない。

文化会館（公民館）について

問 若者や子ども、子育て世代も気軽に利用できる公民館になるための施策は。

答 〈教育部長〉 地域住民全体が気軽に集える社会教育、生涯教育の拠点施設となるよう取り組む。

問 ロビーの有効活用は。

答 〈教育部長〉 主に展示スペースとして活用している。談笑ができ、地域の人や情報とつながる交流できるスペースとして調査研究する。

問 正規職員の複数配置を。

答 〈教育部長〉 活性化に向けて必要に応じて人事部局と協議する。

ゴミ処理について

問 忠岡地域エネルギーセンター等整備運営事業の環境アセスメントの方法書に対して、240件以上の住民意見とともに近隣首長、大阪府知事からも意見が出されている。これらの意見についてどう思われるか。

答 〈町長〉 施設建設にあたって、地域住民への理解と同意が重要であると知事の意見が発出されている。事業者においては、この意見を踏まえてしっかり環境影響評価をおこなっていただきたい。

地域の高齢化について

問 忠岡町の高齢化率は約29%、買い物弱者がおられることをご存じか。

答 〈健康福祉部長〉 認識している。

問 近隣市では“動くスーパー”などの利用があるが、町として施策はあるか。

答 〈健康福祉部長〉 福祉バスや社会福祉協議会の買い物支援サービスがある。



森野 良一 議員（無党派）



資源ごみ等、持ち去り行為の防止について

問 近年、アルミや紙類、金属などの価格高騰に伴い、資源ごみや粗大ごみの持ち去り行為が全国で多発しており、本町においても資源ごみの回収日に庭先のごみ袋からアルミ缶だけを持ち去る行為や粗大ごみを持ち去る行為が見受けられる。又、粗大ごみについては、金属等の必要な部分だけを取り不要な部分を不法投棄する悪質なケースも確認されている。大阪府においても数多くの自治体がごみの持ち去り禁止条例を制定している。本町においても本条例の制定が必要であると考えられるが如何か。

答 〈産業住民部次長兼生活環境課長〉 近隣市においても条例を制定しており、本町においても警察との協力等、取締りの手法等を含め条例制定の可能性について調査研究を行う。

水道料金改定案の申入れに対して

問 この度、大阪広域水道企業団より、令和11年から約20%～30%引上げの料金改定案が申し入れられた。町議会は受け入れ難い旨を企業団に伝えたが、現在忠岡町議会は企業団議会での議席を持たない。首長会議に出席している町長の考えは如何か。

答 〈町長〉 私といたしましては、1月6日に水道企業団から忠岡町に示された施設整備案と料金改定の提案は、とても受け入れられるものではない。

問 政治は結果が全て。反対するだけなら誰にでも出来る。町長が首長会議にて本町の料金改定に了承できない旨の意思表示を行った際、首長の3分の2以上の賛同を得るために、他の首長に対しどのようなアプローチを行い、賛同を得る準備を行っているのか。

答 〈町長〉 企業団とのやり取りがまだ固まっていない。現段階では首長の皆様に具体的なアプローチはしていない。



二家本 英生 議員（日本共産党）



持続可能なまちづくりへ

問 人口減少・少子化対策として、町長のお考えは。

答 〈町長〉子育てしやすい町を目指し重点的に施策を展開することが必要。また、住むこと、働くことも併せて取り組み、選ばれる町、また、町で育った子どもたちが住んでもらえることも大切である。

問 法人税を増やすには企業誘致が必要である。地域の商工業振興対策及び産業の発展などを審議する場もある。審議会の開催を。

答 〈産業住民部長〉審議会の開催も念頭に、商工業振興対策に取り組む。

いきいきと暮らせる取組の推進について

問 シニア世代が地域でいきいきと暮らせるためには、「生活支援・介護予防」分野の充実が不可欠である。取組は。

答 〈健康福祉部長〉地区サロンの実施など、地域

での取組の活性化が必要。実情を踏まえ、社会福祉協議会をはじめ関係団体や住民とともに考える機会を設けられるように検討する。

減災・防災に強いまちづくりについて

問 避難行動要支援者の登録は完了していると聞いている。個別避難計画の作成の進捗状況は。

答 〈町長公室次長兼秘書人事課長〉自力避難や家族の支援が受けられる方は、自助の意識醸成と防災意識向上を目指す目的で、セルフ方式による計画作成を促進。避難困難度の高い方は、福祉専門職の協力を頂き、計画作成を促進する体制の構築をすすめる。

問 避難生活の課題はトイレ設備である。簡易トイレは、衛生面を気にする人もおり、トイレに行くことを控え、体調を崩す恐れがある。トイレカーの導入を。

答 〈町長公室次長兼秘書人事課長〉トイレカーも簡易トイレ同様、定期的かつ適切な清掃が行なわなければ、衛生環境の維持は困難と認識している。運用体制等を踏まえ、整備のあり方について今後も検討を重ねる。



小島 みゆき 議員（公明党）



福祉バス事業について

問 交通弱者の利便性の向上に向けて充実すべきでは。

答 〈町長〉アンケート調査中、結果を確認し検討する。

アピアランス事業について

問 要望し続け昨年開始に、その時にもこれがゴールではない！と希望ある言葉があった。脱毛症の方へも助成を。

答 〈町長〉必要な方がまだいると思う、検証する。

給食費支援について

問 不登校やアレルギーの児童生徒に対する支援も必要では。

答 〈町長〉同等の支援が受けられるよう必要な措置を講じる。

保険料について

問 保険料は引き下げると同等の効果のある負担軽減策を一般財源も含め行う。基金の活用も含め財政局とどの財源を使うか考えると昨年、町長は答弁された。一方担当

課は、保険料は大阪府統一なので、忠岡町だけが独自で引き下げることにはできない。ペナルティがあり他の自治体にも迷惑がかけると答弁。引き下げはどうなっているか。

答 〈町長〉特別調整交付金を受け取っているため、忠岡町が一般会計から繰り入れて保険料を引き下げると、交付金が減額され、他の市町村に与える影響を鑑み、現段階では独自での引き下げは行っていない。

自転車の交通ルール浸透について

問 本年4月～自転車の交通違反に反則金制度（青切符）が導入される。全世代に安全教室の開催や啓発が必要では。

答 〈産業住民部長〉交通安全教室やイベント、学校啓発の機会に、冊子などを配布し、交通マナーの浸透に努めている。警察や学校園と協力し未就学児や幅広い年齢に対応する。

5歳児健診について

問 発達特性の早期発見、早期支援に有効な5歳児健診の取り組みを。

答 〈健康福祉部次長兼保険課長〉本年は視察や調査と情報収集に努めた。実施に向け準備を進めているが、状況により延期の可能性もある。



田辺 みき 議員 (無会派)



持続可能な自治会活動に向けて

問 自治会の加入率、役員の担い手の状況は？

答 〈町長公室次長兼秘書人事課長〉 加入率の高い地区は約 95%、低い地区は約 57%となっている。中央自治振興協議会では休会回避に向け 3/31 まで後任選任に取り組まれている。

問 活動の持続可能性向上のため、女性や若年層の役員登用等、裾野を広げるための方策は？

答 〈町長公室次長兼秘書人事課長〉 運営や役員選出方法等は自治会にて自主的に決定されるべきもので行政として個別具体の意見を申し上げる立場にない。自治会会則には性別や年齢に関する制限は設けられていない。

問 行政から任される業務のスリム化、活動の見える化(自治会活動の町広報紙掲載案)に向けてのお考えは？

答 〈町長公室次長兼秘書人事課長〉 自治会にお願いしていた町広報紙の配布を負担軽減の観点から令和 8 年度より業者委託に見直しを行った。町と自治会連携による活動の掲載事例があるが、自治会主体の活動は掲載していない。

「第 5 次忠岡町地球温暖化対策実行計画」と脱炭素政策の問題点

問 本町の取組みと事業見込みは？

答 〈産業住民部次長兼生活環境課長〉 令和 12 年度を目標年度に本町全域の二酸化炭素(CO2)削減に向け、省エネルギー対策、再生可能エネルギー普及拡大、総合的地球温暖化対策の 3 つの方針を実施することにより7,806トンの削減を見込んでいる。

問 地球温暖化、異常気象の主原因が CO2 にあるという主張は科学的に証明されておらず、CO2 排出主要国は脱炭素から離脱しつつある世界的潮流を踏まえた本町の政策修正等お考えは？

答 〈産業住民部次長兼生活環境課長〉 国の 2050 年迄に温室効果ガス排出実質ゼロという目標を目指す、経済性と両立した現実的な視点も必要で、国の方針等、社会情勢の変化等による見直しも考え得る。



河野 隆子 議員 (日本共産党)



産廃事業者が住民からの要望で説明会を開催

問 環境アセスの方法書について、疑問や意見があった。アセスの範囲に忠岡全域が入っていない事、持ち込まれる産廃ごみはデータシートで確認する事や、洪水対策が抜けているなどの不安や疑問について納得する答えはなかったと感じている。町はどう考えているのか。

答 〈産業住民部次長兼生活環境課長〉 住民意見に配慮して条例に基づき準備書の作成を進めていくものと認識している。

地域防災力の向上について

問 災害が発生したら、まずは自助であり、被害を軽減するには「共助」の役割が大きい。地域住民への防災意識の向上を推進するための今後の取組について。

答 〈町長公室次長兼秘書人事課長〉 防災資機材の整備や津波浸水リスクのある忠岡小学校区で地区防災計画作成を推進した。

問 地域防災力な向上を図るためには避難訓練についての取組は。

答 〈町長公室次長兼秘書人事課長〉 地区の自主防災会と協議しながら、訓練も実施できるよう努めてまいりたい。

問 地域防災士の資格補助金の検討を。

答 〈町長公室次長兼秘書人事課長〉 まずは府の補助金を活用出来たらと考えている。

公園に遊具の設置計画を

問 高月北向井田公園のすべり台は撤去されたままだ。新しい遊具の設置計画をたてられよ。

答 〈産業住民部長〉 障がいのある子もない子も一緒になって遊べるインクルーシブ遊具を設置していきたいと考えている。

大腸がんの無料検診の検討を

問 本町は肺がん検診は無料である。若年層に増えている大腸がんの検診の無料も検討される事。府下でも約半分が実施している。

答 〈健康福祉部次長兼保険課長〉 無料化については今後検討してまいりたいと考えている。



今奈良 幸子 議員 (大阪維新の会・呈祥会)



公民連携 (ガイドライン①②・包括連携協定③) について

問 ①公民連携ガイドラインの運用の方向性は。②町長がトップセールスで牽引すべき。③締結がゴールではなく、本町を学生のフィールドワークの場としての活用しては。

答 〈町長公室長〉 ①三方良しの公民連携・住民サービス向上を目指す。
〈町長〉 ②住民のメリットを一番において運用する。
〈町長公室長〉〈教育部長〉 ③調査研究していく。

広域連携 (南大阪創生首長会議①・2市1町連携協定②③) について

問 ①参画する意義は。②令和8年度の新規事業は。③泉大津市長から打診されている学校給食等における有機栽培等の調達に関する取組みへの考えは。

答 〈町長〉①産業の振興や交通、観光等の分野で広域連携できる。③興味・関心があり実施に向けて検討する。〈町長公室長〉 ②ない。随時連携の検討を進める。



尾崎 孝子 議員 (大阪維新の会・呈祥会)



庁舎敷地アメニティ広場を町民の憩いの場に

問 庁舎敷地は行政財産なので、有効活用しないと非常に勿体ない。活性化のためにも ATM コーナーの跡に食品自販機を置く等、高木周辺一帯を利活用し、キッチンカー等が出店できるイベント用地や防災用機能も兼ね備えた憩いの広場にすべき。

答 〈町長公室長〉 アメニティ広場を町民の憩いの場や活性化につながるよう幅広く検討する。庁舎内の物販等には障壁等はないが、幅広く活用するにはルール作りが必須となり具体的な方針について調査研究や財源確保の検討を進め、可能な限り早期に対応する。

施政方針から①国民健康保険料②ごみ処理方式③障がい者支援

問 ①国民健康保険料の引き下げを町長は6月議会で、担当部局に相談すると言ったきりで前町長と同じ施政方針だった。引き下げは出来ないとわかりながら公約にしたのか？

学校・健康意識向上 (給食①・教員不足②・包括的性教育③) について

問 ①無償化なのか抜本的な負担軽減なのか趣旨を誤解なく説明できるのか。②年度途中の欠員に耐える体制づくりとメンタル不調の予防の検討を。③性教育 (包括的性教育) において町全体での取組としての進捗状況は。

答 〈教育部長〉 ①町HPや広報紙等で広く周知する。③引き続き調査研究する。
〈教育長〉〈教育理事兼学校教育課長〉 ②大阪府に要望。全力で学校を支援する。予防・早期発見につながるストレスチェックの活用方法の検証を行う。

住民主体の協働のまちづくり (自治振興協議会) について

問 ①行政・自治会双方の役割分担をどのように分かりやすく共有していくのか。②地域活動のデジタル化の導入支援を進めていくべき。

答 〈町長公室次長兼秘書人事課長〉 ①現状を踏まえ、今後の適切な方法を必要に応じて検討する。②自治会のご意向・地域の実情を踏まえ必要があると判断した場合は調査研究を進める。

答 〈町長〉 大阪府の制度で、町独自では引き下げが出来ないので、町村長会を通じて府に保険料の引き下げを訴えていく。

問 ②ごみ処理方式の公民連携事業を進めながらの広域連携の調査は、両天秤にかけることになり失礼ではないか。また方法書での町長の意見書は「地域エネルギーセンターとして地域と十分意見交換を行う場を設け、地域循環共生圏の形成による地域活性化を期待する」とあり、町長は推進しているのか。

答 〈町長〉 公民連携は協定で対等な契約なので問題はない。意見書は環境保全審議会に諮問した答申を尊重しただけ。個人の意見ではない。

問 ③障がい者就労支援での発注内容に数年変わりが無い。今後の障がい者の経済的自立支援策を問う。

答 〈健康福祉部長〉 庁内各課並びに関係機関へのさらなる周知を図り、事業者側と連携し、発注機会の拡大に取り組んでいく。



河瀬 成利 議員 (大阪維新の会・呈祥会)



令和 8 年度予算及び施政方針について

問 是枝町長として、初めての予算編成、施政方針ということで、町議会議員を長くやられており色々な思いを持っておこなわれたと思いますが、選挙時の町長公約の予算が組み込まれていない。施政方針も令和 7 年度とほぼ同じ、町長としての考えはないのか。

答 〈町長〉国保料、介護保険料につきましては、一般会計から国保・介護会計に入れることはペナルティーがあり、他の市町村への影響があるのでできない。施政方針についても色々考えていく。

問 副町長選任について前回は選任について質問しましたが、私は町長が各部署間の調整取りまとめができていないので、他の組織から副町長の選任を求めるのではなく、職員の中から選任を考えてみてはどうか。

答 〈町長〉府のほうには要請しておりますが、なかなか難しく再度、要望してまいります。

問 ごみ処理事業について、公民連携協定締結から 3 年が経過しました。岸和田貝塚清掃組合、泉北環境に入りこむ広域化を進めているが、未だにも結果が出ず公民連携を反対しているが、先方に対しても今後、忠岡町のごみ処理を一緒におこなっていかねばならないのに失礼ではないか。町長として公民連携を進めていくのか、広域連携を調査し続けるのかどちらか、判断する必要があると思うがいかがか。

答 〈町長〉今後の予算というところにも関わってくるかと言うふうな事もございますので、この 1 年で方向性が示せるようにスピードアップして動いてまいりたいというふうに考えております。



北村 孝 議員 (公明党)



災害に強いまちづくりについて

問 災害時に自力での避難が難しい。障がい者や高齢者から要支援者の情報を消防本部で瞬時に調べられる環境を整えられよ。

答 〈消防長〉消防本部では、令和 3 年 2 月より岸和田市忠岡町消防指令センターの運用開始とともに、消防応援システムを導入した。本町福祉部局からご提供を頂いた要支援者情報をシステムに登録し反映させている。活動がスムーズに行えることが重要だと認識しており、今後も町防災部局と共有しながら登録できる方向で進めて参ります。

国民健康保険料・
介護保険料について

問 町長が議員時、令和 5 年 6 月、令和 6 年 3 月議会での一般質問で高すぎる国民健康保険料、介護保険料の引き下げを訴えている。また、町長選挙公約に掲げられている。取り組まれないのか。

答 〈町長〉大阪府は全国に先駆けて保険料を実施している。統一保険料実施には反対である。運営方針で一般会計からの繰り入れ基金の取り崩しはできない。制度の仕組み自体に問題がある。保険料の引き下げを国や府への要望にも力を尽くして参る。

(仮称)地域エネルギーセンター
について

問 公民連携のエネルギーセンター事業を中止し、広域処理に取り組むとのことですがうまく進まない場合、どう判断されるのか。

答 〈町長〉広域処理が駄目だった場合はと言うところの具体的なところは、今現在では申し上げる事はできません。広域処理の可能性が出てくるように努力して参る。

忠岡町ごみ処理施設調査特別委員会(第16回)報告 開催 令和8年3月23日

委員長 / 北村 孝 副委員長 / 河野 隆子
 委員 / 河瀬 成利、今奈良 幸子、小島 みゆき、高迫 照子、森野 良一、田辺 みき、
 尾崎 孝子、二家本 英生
 オブザーバー / 前川 和也 議長

ごみ処理施設の整備・運営及び委託処理等の進捗状況について



- ① ダイオキシン類の調査結果について
- ② 第二種特定有害物質の調査結果について

質疑応答

問 事業者から示されたスケジュールでクリーンセンターの解体工事の調査・設計がある。忠岡町の当初予算でも調査費が含まれている。理由は。

答 事業者が設計する中で、その費用が適正なのか判断するために町でも調査する。

令和8年度予算審査特別委員会 審査報告

開催日：3月16日、17日、19日

委員長：河野 隆子（日本共産党） 副委員長：尾崎 孝子（大阪維新の会・呈祥会）
 委員：今奈良 幸子（大阪維新の会・呈祥会）、北村 孝（公明党）
 田辺 みき（無党派）、二家本 英生（日本共産党）
 オブザーバー：前川 和也 議長

◎令和8年度 当初予算額

会計名	令和8年度	令和7年度	増減額	増減率
一般会計	83億6003万0千円	81億4332万9千円	2億1670万1千円	2.7%
特別会計				
国民健康保険事業勘定特別会計	17億8609万9千円	17億7723万2千円	886万7千円	0.5%
介護保険特別会計	18億7477万8千円	18億335万7千円	7142万1千円	4.0%
後期高齢者医療特別会計	6億1528万8千円	5億7029万1千円	4499万7千円	7.9%
企業会計				
下水道事業会計	15億332万7千円	14億8809万7千円	1523万0千円	1.0%
合計	141億3917万0千円	137億8230万6千円	3億5686万4千円	2.6%

令和8年度当初予算における主要施策（抜粋）

予算編成の基本的な考え方

『10年後、20年後の町の将来を見据えた予算編成』

(1) 子育て支援の充実

- ・ 忠岡町こども家庭センター（こどもスマイルセンター）
- ・ ファミリーサポートセンター
- ・ 校内教育支援センター支援員配置事業（東忠岡小・忠岡中）

(2) 健康づくりの推進

- ・ 短期集中予防サービス通所C型事業
- ・ 基幹相談支援センター業務委託事業

(3) 防災・減災力の強化

- ・ 耐震改修促進計画改訂事業
- ・ 雨水ポンプ場耐震補強事業

(4) 自治体DXの推進

- ・ 庶務事務システム更改事業

(5) まちの賑わいづくりの推進

- ・ 忠岡駅周辺活性化、開業支援事業（継続）
- ・ 2市1町周遊企画事業（継続）

他、町立小中学校や集会所のLED照明設置事業、生理用品設置事業（庁舎、文化会館）

質疑応答＜部局ごとの質疑＞

問 新年度から実施される。「こども誰でも通園」すべてのこどもにおいてと理解しているが、障がい児の場合も含むのか。

答 障がい児の施策、例えば療育の方で利用の案内をさせていただくことを考えている。

問 公立こども園における保育強化業務の効果は。

答 日常生活における基本動作の知識の習得、集団生活に適用できるような効果が狙い。徐々に言葉が少し出てくるなど、効果も少しずつ上がっている。

問 学校施設に熱中症対策として水分補給、ウォータークーラーの設置を。

答 現在、ペットボトルで対応。近隣の状況も含め、今後調査研究の方をして参りたい。

問 学校への予算配分が多く、ほとんどが町の単費である。特にLEDは10年リースである。補助金は活用出来なかったのか。

答 初期費用が多くかかる分、リースは負担が少ない。10年後は町に譲渡されるので採択した。

問 各団体への補助金が毎年同じ、活動の有無は違うはず、新規事業等への補助金申請は可能か。

答 総会等に出席し、決算報告を見て精査している。新規事業の際は事前の相談を。

問 借上公営住宅移転事業での独居など身寄りのない方への対応は。

答 ヒアリングを重ね町営住宅お住まい18軒のうち借上公営住宅6軒、耐震シェルターを施しそのまま住みたい7軒、未定5軒で見寄りのないお宅はない。

問 町営住宅耐震シェルター設置工事について具体的中身は。

答 一日の一番長く居る一部屋に耐震シェルターを設置するもの。床の下から鉄骨のシェルターを立ち上げる。一基当たりの総工費450～460万円。

問 財源確保のための公用車への広告ラッピングについて、昨年の予算委員会では前向きな答弁があったが8年度こそ実施すべきである。

答 実施に向けて最終の決裁の段階にまできている。

問 11月に「全国豊かな海づくり大会」が開催される。予算書にも施政方針にも全く記載がないが本町としてどのように関わるのか。

答 町のPRブースを出展予定である。

問 文化会館の1階ロビーの空きスペースに男女共同参画コーナーの設置を。

答 男女共同参画の取組を進めていくということで、教育委員会だけの判断ではなく、担当部署と調整し、設置の方向で進めれば、と考えている。

総括質疑〈大局的な質疑〉

問 自治体の貯金、いわゆる財政調整基金が枯渇ということで新聞報道されている。財源の確保の不透明さ、今後どういう風にされるのか又、昨年の決算委員会で10億+aの確保は絶対しておきたいとの答弁であったが見解を伺う。

答 10億+aは確保していかないと様々な足りなかったためのということもあるので、それは確保は絶対しておきたい金額であるということには変わりはない。様々な財政状況や社会情勢や不測の事態にも備えないといけないというところは考えている。

問 人件費、扶助費、公債費の義務的経費が55%と高く、民生費も増加。依存財源に頼り少ない税収であるが、老朽化の公共施設、住民サービス等の維持に、子育て支援以外の施策は？

答 町に愛着を持ってもらう取組みを考える。

問 有償ボランティアについて。ファミサポは住民の社会参加につながり意義があると考えている。子育て分野以外に、清掃活動や見守り、生活支援などの分野へと拡げていくべきではないか。

答 社協と共に調査研究をしていきたい。

問 包括的性教育について。単なる知識ではなく困っている方を救う環境整備も非常に大切である。教育委員会だけでなく、福祉・子育て・人権など全庁的に取り組むべき。

答 家庭・学校・行政とで連携していけるよう考えたい。

問 社会保険料、社会保障経費の抑制のため健康寿命の延伸、生涯現役社会に向けた取組みについては。

答 介護予防活動、地域活動の活性化、シルバー人材センターの活用等就労の機会を増やす。/ 福祉課
介護予防と保健事業の一体化、運動にも力を入れた保健事業を推進する。/ 健康づくり課

ライフステージに応じた生涯学習の創出、生涯スポーツの機会づくり、文化活動の支援、文化的交流の促進。/ 教育委員会

問 障がい者の居場所として月2回文化会館にて10～15時地域活動支援があるが、作業所は15時終了が多く、待つ家族にも負担がかかる。15時以降、町内で誰でも利用できる居場所を要望する。

答 他の自治体を調査研究する。

問 障がい者の職務経験を積む機会を提供し、一般企業等への就職に繋げることを目的とした取組の実施を。

答 障がい者雇用という面で、取れるべきやり方があるのか、今後、検討したい。

問 近隣市では中学生を対象とした「子ども議会」が開催されると聞く。こどもの意見を率直に聞ける良い機会である。忠岡町でも実施を。

答 子どもたちが自分の住んでいる町の仕組みや取組を学ぶことで、関心や理解を深め、愛着も深まる。調査研究を進める。



令和8年度当初予算に対する意見集約

賛成

大阪維新の会・呈祥会

公民連携ごみ処理事業を着実に推進する予算が計上されていること、子育て支援に関する施策が多数盛り込まれていることに加え、町営住宅への取り組みをはじめ、基金の運用など、是枝町長が就任する以前から計画されていた多くの事業が着実に実施されることから賛成する。ただし以下の点に留意。

行財政改革：DX化推進や既存戦力の強化、稼ぐ取り組みの強化。

公民連携：公民連携ごみ処理事業の一層の推進。民間企業・大学との連携強化。

広域連携：複数の自治体による共同処理推進の調査研究。

町民との協働：町民に主権者としてまちづくりに参画していただくことに力点を置くこと。補助金・交付金について活動実態や社会のニーズに応じたあり方を追求。

公明党

令和8年度忠岡町一般会計及び各特別会計当初予算案について公明党の意見を申し上げます。町政運営の基本的な考え方の施政方針を見るにあたり町長が議員時に反対の立場であった令和7年度の前町長の施政方針と変わらない中身である。そこで本予算について、これまで我が党が要望、提案した政策や事業の継続。新年度における施策、これまで訴えてきた学校給食費無償化に向けての町外の学校に通学されている児童、生徒も対象、不登校や重いアレルギーで給食を食べられない児童・生徒にも配慮をされた事。加齢性難聴補聴器購入費用助成事業の対象者拡充、新規の生理用品設置事業、エンディングノート作成事業等の取り組みを評価し本予算に賛成致します。

無党派

令和8年度当初予算額は、現在の庁舎を建設した時に次ぐ過去2番目の予算規模である。人件費、扶助費の増加、物価高による各経費の増加、社会保険料の増加、少子高齢化に対応した施策に基づく社会保障経費の増加が大きく影響を及ぼしている。町民の暮らしにおいて、インフラの整備は計画的に着実に進めていただくべき重要な事業で、耐震改修促進計画改訂事業、雨水ポンプ場耐震補強事業が予算化され、防災・減災のための取組みをしっかりと行っていただきたい。町として節約すべきところを明確化し、無償化とは言い換えれば税金化であることを踏まえ、将来世代に借金を先送りすることを避けて堅実に進めていただくことを要望し賛成する。

日本共産党

新年度予算は、物価高騰のおり、人件費の増、社会保障費などの扶助費の増もある中、「10年後、20年後の町の将来を見据えた予算編成」として、子育て支援・教育施策の充実、迫りくる災害から人命を守る対策、人権に関わりある施策を基本とし、高齢者支援として、加齢性難聴の対応として補聴器購入費の補助金の対象拡充、介護予防・健康寿命を延ばす事業などの施策が見られます。人口減少対策や福祉の向上を目指す新規事業が見られます。また、タウンミーティングなどの開催を通じ、住民の声を活かす町政も評価できます。よって、一般会計、各特別会計、下水道事業会計、全ての予算案に対し、賛成します。

議案番号	件名	維新・呈祥		公明	共産		無党派
		今奈良	尾崎		北村	河野	
議案第14号	令和8年度忠岡町一般会計予算について	○	○	○	委員長	○	○
議案第15号	令和8年度忠岡町国民健康保険事業勘定特別会計予算について	○	○	○	委員長	○	○
議案第16号	令和8年度忠岡町介護保険特別会計予算について	○	○	○	委員長	○	○
議案第17号	令和8年度後期高齢者医療特別会計予算について	○	○	○	委員長	○	○
議案第18号	令和8年度下水道事業会計予算について	○	○	○	委員長	○	○

大阪府町村議長会「定例総会」

- 開催日時：令和8年3月3日(火)
場 所：大阪府新別館南館
日 程：(1) 議案第6号
令和7年度大阪府町村議長会
一般会計歳入歳出補正予算について
(2) 議案第7号
令和8年度大阪府町村議長会
一般会計歳入歳出予算について
(3) その他
① 令和8年度議員セミナーの
開催について
② 議会の主権者教育リーフレット
について

出初式

令和8年1月11日 消防出初式に町議会を代表して前川和也議長が出席し、消防職員・消防団・自主防災会・自衛消防隊の皆様へ感謝と激励のご挨拶を行いました。



羽衣国際大学

令和8年2月19日 羽衣国際大学に在籍し公務員を志望する学生を対象に、前川和也議長が「二元代表制の意義」というテーマで講演を行いました。また、本町議会事務局から若手職員も講演し、学生に向けて公務員試験への向き合い方についてのレクチャーを行いました。将来、忠岡町役場を目指す学生が増えれば幸いです。



大阪府南部地区議長会視察研修

- 開催日時：令和8年1月26日(月)
～27日(火)
場 所：岡山県 和気町、美咲町
参 加 者：大阪府南部地区
(田尻町、熊取町、岬町、忠岡町)
各議長及び議会事務局長
内 容：① 和気町 移住定住施策
(公営学習塾について)
② 美咲町 議会改革関連

1月26日(月曜日)から27日(火曜日)南部地区議長会議長研修が行われました。前川議長と忠岡町議会事務局長が参加しました。和気町では移住定住施策をテーマに、主に移住施策及び教育施策、子育て支援施策について学びました。美咲町では議会改革関連をテーマに、議会改革等について意見交換が行われました。



編集後記

3月定例会では、町長就任後初めての施政方針・令和8年度の予算等があり議論を重ね賛成多数で議案・予算ともに可決されました。

施政方針では町長の公約であるエネルギーセンターや保険料の事が示されておらず、各議員からの一般質問も町長に答弁を求める場面もありました。議会だよりでは一部分をまた、ホームページでは質問など本会議の内容が視聴できますので見ていただければと思います。

表紙の写真は議員団で視察した忠岡町の皆さまにとって大切なお水を各家庭に送り届けている施設である北出配水場の写真です。

忠岡町議会広報委員会